

NPO法人太秦歴史探訪舎

平成26年度年度事業へのおさそい

<特別公開 ^{ろくおういん}「鹿王院」 ^{だ と でん}駄都殿 ^{ぶつげしやり}仏牙舍利> 拝観

[嵐電有栖川集合→齋宮神社→車折神社→斉明神社→鹿王院→解散]



時 期 10月15日(火)

時 間 10:00~12:00

定 員 30人

参加費 ¥2,000 (保険含む)

(拝観料 ¥400、交通費は別途個人負担)

この散策企画は太秦西コースがベースですがメインは「**仏牙舍利特別公開**」の「**鹿王院**」です。

^{ぶつげしやり}**仏牙舍利**をご存じですか、仏舍利は一般的ですが仏牙舍利はあまり聞くことがないと思います。**仏牙舍利はお釈迦様の歯**のことです。仏像が誕生するまでの仏教徒の信仰の場は各地に分骨された仏舍利を祀る仏塔だったそうです。仏舍利の中でも特に仏牙舍利を貴ぶのは、歯は言葉を発する源であり、釈迦の教えそのものの象徴とされることにあるそうです。

この仏牙舍利、京都では「泉涌寺」「八坂神社」「鹿王院」の3か所に祀られているようですが、公開されるのは「鹿王院」だけのようです。10月15日は鎌倉幕府3代将軍源実朝が中国の宋お都臨安の能仁寺から取り寄せたおり、博多の港に着いた日だそうです。鹿王院では毎年10月15日を「舍利会」として開扉供養の日として特別公開しています。



「齋宮神社」

垂仁天皇の皇女倭姫命の別荘地との伝承がある。

何時、誰の皇女かは不明ながら、齋王代の禊の場と言われている。有栖川の水で潔斎した。

野々宮は^{うらな}卜いで決めるため毎回場所が変わる



「車折神社」

平安時代の学道の祖「清原 頼業」を祀る
昭和に入ってから「芸能神社」が有名
また、境内に「洛柿舎」跡があることは意外と知られていない。

5月の嵐山三船まつりは例 祭の延長神事。
春は12種類の桜が咲く花の名所としても有名。

大正6年（1917）に^{あめのうぎめのみこと}天宇受売命を、現在の地主神社に非公式に合祀していたが、芸能関係者らのたつての強い要望もあって、昭和32年12月31日、現在地に独立神社として誕生した。芸能の祖神天宇受売命を祭祀ところから総ての芸能上達を祈る人々の篤い崇敬を集めている。



「斉明神社」（1606年）

天龍寺塔頭「慈濟院」の鎮守社。
身舎両妻に棟持柱を建てた神明造で造営資料もそろった貴重な建物です。

当所は859年（貞観1）伊勢斎王に卜定された文徳天皇皇女且恬子内親王が、嵯峨の「野の宮」に籠られた際、天照大神を祀って潔斎した旧跡と伝え、それに因んで康永3年（1344）天竜寺二世佛慈禅師（無極志玄）を開基として創建した天竜寺塔頭慈濟院の境内地にあたる。

斎宮神社も斉明神社も禊の跡地、太秦界限は古代史縁の地なのです。

鹿王院終了後現地で解散します。交通機関の最寄りの駅は「嵐電鹿王院駅」が便利です。
解散後は嵐山で昼食・散策、阪急嵐山駅1分のところにオープンしました「日帰り温泉・風風の湯」、食事は出来ません。入浴料金は¥1,000です。有栖川へ戻り天山の湯で温泉気分と昼食などいろいろ楽しめます。また、大映通りに戻りキネマキッチンで懇談・昼食も可能です。

お問い合わせ & 申し込み

● 担 当 米 澤 まで

☎ 090-1448-2244

FAX 075-864-2498

メール gq6d9ma9k@voice.ocn.ne.jp

小雨決行・荒天時中止の場合は当日8時に連絡致します。

参加申込書

平成26年10月15日(土)

<特別公開 「^{ろくおういん}鹿王院 ^{だ と でん}駄都殿 ^{ぶつげしやり}仏牙舍利」拝観>

お申し込み者 氏 名 _____

参加者 氏 名 _____
住 所 _____
年齢 _____ 生年月日 _____
電話番号 _____
当日の連絡先 _____

同伴者 氏 名 _____
住 所 _____
年齢 _____ 生年月日 _____
電話番号 _____
当日の連絡先 _____

申し込み先 FAX 075-864-2498
メール gg6d9ma9k@voice.ocn.ne.jp 米澤まで